



令和5年度 十条地区地域円卓会議 概要

日 時：令和5年12月14日（木） 午後6時30分～8時00分

場 所：上十条ふれあい館 第1ホール

参加団体：十条地区町会連合会、青少年十条地区委員会、赤十字奉仕団十条分団、十条地区まちづくり三大学協議会、上十条五丁目町会、十条仲原一丁目町会、十条仲原3丁目町会、民生委員・児童委員、王子第三小学校 PTA、王子第五小学校 PTA、十条高齢者あんしんセンター、十条銀座商店街振興組合、北区社会福祉協議会 計13名

会議概要：「災害時における避難所での生活、役割分担等について」をメインテーマとし、災害に関する様々な問題について、意見交換を行った。

1 開会の挨拶 十条地区町会連合会会長挨拶

2 出席者紹介

3 意見交換【主な意見】

- ・プライバシー、トイレ、ペット等の様々な問題があり、避難所生活は本当に不便であり、混乱、トラブルが必ず起きる。自宅が崩れない限り、避難所に行かずに自宅で生活すること、そのための備蓄、準備を各自がきちんと行い、自分の身は自分で守る、ということの周知を徹底しないといけない。
- ・きちんと対策をしても隣の家が防災に関心がなければそこから火事になり火が燃え移ってしまうこともある。ただ、防災に関心がない人にその必要性を認識してもらうのは本当に大変。
- ・各町会、各団体での日頃の周知が大切。しつこいと思われるくらいやるべき。
- ・避難所での混乱、トラブルを少しでも減らせるように、事前に避難所内での役割分担を考えておく必要がある。

- ・防災訓練がマンネリ化し参加者も減っている。新しい取り組みも必要。
- ・子どもは環境の変化に対する負担が大きく、避難所との相性が悪いと痛感した。小さい子がいる家庭は避難所には行かずにできるだけ自宅で過ごせるように準備することをPTAとしても周知していきたい。
- ・高齢者も避難所生活に耐えられない。避難所では認知症等が悪化するとも聞く。自宅で過ごせるよう備蓄することを考えなくては。飲食は多少我慢できても、薬の確保は死活問題。日頃から多めに用意しておくことが大切。
- ・避難所支援や復興期の個人の支援には災害ボランティアセンターや社協が協力できることを覚えておいてほしい。

4 事務連絡

- ・地域円卓会議アンケートの回答依頼について

5 閉会の挨拶 十条地区まちづくり三大学協議会会長挨拶

